

三木市ゆかりの皆様が 新年への思いを語る



新年のごあいさつ



貴戸湊太さん
第18回「このミステリーがすごい！」大賞 U-NEXT・カンテレ賞受賞
昨年はデビュー作刊行、さらには同作のドラマ化の年でした。その際には、三木の皆様から多くの応援をいただきました。生まれ育った三木の皆様から応援をしていただけることは、とても励みになります。今年は、応援をしてくださった皆様への恩返しの日です。三木の皆様を楽しませることができるような作品を書くことで、恩返しをしていきたいです。

石田満美さん

「改組 新 第6回日展」工芸美術部門 特選受賞(皮革工芸)

皮革工芸に魅せられ、ただひたすら未知の世界を歩んでまいりました。周りの方々の協力やご縁に恵まれ、お陰様で前進し続ける事が出来ました事を、心より感謝申し上げます。「夜明け讃歌R-1」が特選に選ばれたことは本当に嬉しいことですが、表裏一体、また苦しい世界に突入。試行錯誤・努力の再出発が始まります。写真の作品は「祈願」。コロナ禍を皆で乗り越え明るい1年になりますように！



勝次さん
世界キックボクシング協会(WKBA)世界スーパーライト級王者
昨年は、キックボクサーとして過酷な1年となりました。ただ、辛いことが続いたときに「高くジャンプするには一旦しゃがむ必要や」と自分を戒めてチャンピオンとなった経験がある僕です。ピンチの時こそ精神的に強くあろうと意識し、今年が良い年になるように、努力を続けます！ただいま、新型コロナウイルスの影響で世界中が大変ですが、くじけずに前を向いて進んでいきたいですね。

WHATNOT HARDWEAR STOREの皆様

「価値デザインコンテスト～勝ちデザグランプリ2020」内閣総理大臣賞受賞

「道具を身近に。暮らしを豊かに。」をコンセプトに魅力的な「モノ」「コト」を三木市から発信！商品販売に留まらず地域資源で地域課題の解決(廃材利用でのアップサイクル文化の創造など)も視野に入れた取り組みも進行中！「金物のまち」三木市とともに成長を続け、三木市を「DIYのまち」としても発展させたいです！



新年、あけましておめでとつございます。市民の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
また、日ごろから市政の運営に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の脅威から市民の安全な暮らしを守る使命と、自粛で停滞する市内経済活動を回復していくという難しい選択に對するべく、職務に邁進した一年でありました。
そのような中、令和へと時代が変わり早や3年目を迎えます。コロナ禍にあっても時代は常に前へ進み変化していきます。コロナを契機として東京一極集中が見直され、企業の地方移転や人の地方移住の機運が高まっております。
本市においても、常に20年、30年先の未来をしっかりと見据えるなかで、その時代、時代に即した市政を展開していかなくてはなりません。
今、全国的には少子化による人口減少社会にあります。この現実を受け止め、人口減少に見合ったまちづくりを進める

必要があります。一方では、人口が減らない、積極的な対策を推進するため、まちの魅力を向上する施策の展開も必要です。
まずは、三木市というまちを広く市内外に知ってもらうため、3月には、自治体との共同開催では全国初となる全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会を三木市で開催します。これを毎年続け、全国に情報発信することで、「ゴルフと言えば三木」、「三木と言えばゴルフ」との認知度の向上を図り、まちのブランド化を進めます。
また、「教育のまち」として、教育環境を一層充実します。今月から順次、全ての市立学校の児童生徒に配布するタブレット端末を活用し、児童生徒一人ひとりの習熟度に応じた学びにより学力の向上を図ります。同時に、小中9年間を通じて教科ごとに効果的な学習計画が立てられるよう、小中一貫教育に向けた取組を推進します。
就職や結婚などで三木を離れた方たちが、子どもの教育のために再び三木へ戻ってくる。わが子の教育は三木で受けさせたい。そう思ってもらえるような誇



三木市長 仲田一彦

りある学校教育の充実を図ってまいります。
次に、雇用の確保も重要な課題であります。ひょうご情報公園都市次期工区の早期整備について、昨年には兵庫県で大規模産業団地の適地調査を開始してらっており、本年は本格的な事業着手について、さらに積極的に県に働きかけを続けます。
結びに、年頭にあたって、本年も市民の皆様とともに「チーム三木」によるまちづくりに邁進していく思いを強くいたしております。皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶といたします。